



北信総合病院だより

第 76 号

理念

私たちは地域住民のみなさんとともに信頼され満足できる
保健・医療・福祉の実現につとめます

発行日 平成30年1月1日 発行人 洞 和彦 編集 北信総合病院広報委員会
〒383-8505 長野県中野市西1丁目5番63号 TEL 0269-22-2151 FAX 0269-22-2426
<http://www.hokushin-hosp.jp/>

迎春



- 年頭挨拶
- 特集1 脳梗塞のrt-PA療法と血栓回収療法
- 特集2 院内保育園「たんぽぽ保育園」
- 特集3 「つなげる」「かたちに」を使命に
- 健康管理 健診結果のミカタ
- 臨床心理・リハビリテーション科職員紹介
- ここには看護主任さん
- 栄養科からここには
- 拝見、ご意見箱／北信州診療所から／ひと言通信
- 身近な地域のお医者さん／研修医日誌
- 老人保健施設もえぎ
- 職場紹介 西5階病棟
- お知らせ

年頭挨拶

地域と共に生きる北信総合病院

病院長 洞和彦

ほらかずひこ



マンパワー不足を補つて貢献

さて、当院は昨年すべての病院再構築事業が終了し、新たな1ページを刻んでいます。設備の近代化に加えて医師については、この10年間に実に80%が入れ替わり、体制の一新と若返りが図られました。臨床能力や人格に優れた良い指導医が増えました。また、良い指導医の許に、多くの若手の医師が集まつてきており、活気が出て誠に喜ばしい限りです。すべての診療科がこ

らきていて、「草花が枯れる」意味を持つそうです。実際は「まもる」「植物が育つ」といき、花が咲き、実をつけ食べごろが過ぎた後、自分の実を落として、本体の木だけは守る」という意味だそうです。前年は酉年で「商売繁盛」や取り→採りと収穫の意味があり比較的良い意味の年でしたが、戌はその後になりますので収穫後の年になります。改革が実を結ぶ年という意味があります。当院に当てはめるならば、従来の悪弊や不要なものは切り捨て、実のある改革を継続してゆくことになるのでしょうか。いずれにしても、今年は今までの改革が実を結ぶ縁起の良い年となることを祈念しています。

明けましておめでとうございます。月日の経つのは本当に早いもので、昨年の「新年のあいさつ」を書いたのが昨日のことのようです。
2018年は戌年ですが、「戌」の本来の読みは「じゅう」。「戌」という漢字は「一



▲当院に配備となるドクターカーの同型車両。

のような状況になる「」ことが求められます。当院の使命は、地域医療基盤を支える総合的な病院診療を提供し続ける「」にあります。そのためには今後も診療科の充実と拡充、特に地域救急医療への「」の貢献が望まれていると感じます。当院はべりポートを外来診療棟屋上に造設し、自前のドクターカーも配備の見込みがつきましたが、医師のマンパワーはまだ不足している

といえます。「」の問題については、なかなか短期間に解決できる「」ではありませんが、引き続き有能な医師のリクルートに励んでまいりたいと考えております。

先進医療を担うべく整備

総合病院では多くの職種の人たちの手で実施され、奉仕の精神を宿す、温かい心が感じられる医療である「」が大切です。医療の技術に注目するのだけではなく、総合病院の職員にはそうした「」とも体現できる医療人である「」とも期待されています。当院は、田の前の患者さんのために、患者さんと心を一つに邁進していく「」とを考えます。

また、診療への信頼が第一であり、医療技術の向上や医学の知識の更新、安全や接遇の改善に向けて職員の一人ひとりが努力していく必要があると考えます。昨年来、当院では先進の医療を担う医療機器の整備の面でも、病院一体で取り組んできました。が、これからも「」の姿勢で取り組んでいきたいと思います。

シームレスな地域医療の構築

わが国では毎年高齢化が加速しており、

「超々高齢化社会」とも呼ばれています。

当院のある北信医療圏では、近い将来、人口の4割が高齢者という時代になると予想されています。「」の「」から、地域の皆さんが医療にかかる「」が増えますます増えてくると考えられます。そうしたなかで、当院は地域基幹病院としていつそう理解していただけるように、日進月歩の先進の医療を取り込み、望まれる充実した安心と安全の診療を提供してまいりたいと考えております。

そのために、より身近で皆さまの治療をされておられる多くの開業医の先生方とも、連携をより密にしてまいります。さらに、地域の福祉・介護に携わる方々とも、積極的に力を合わせてまいりたいと考えています。「」した皆さまの医療や介護、福祉などに継ぎ田のない状態、いわゆる「シームレスな地域医療」の構築を一途にめざしてまいりたいと存じます。

本年も職員一同、質の高い安心の医療を必要とする患者さんに届くよう努めるとともに、皆さま方が健康を取り戻し、健康を維持していかれるように支えていくことを使命に、職務の遂行を果たす覚悟です。今年もよろしくお願ひいたします。

脳梗塞

脳梗塞のrt-PA療法と血栓回収療法

副院長兼神経内科部長

山㟢正志



脳卒中とは突然に発症する脳の血管の病気の事をさします。脳卒中は大きく分けて脳出血と脳梗塞があります。脳梗塞は脳の血管がつまる病気で、2つのタイプがあります。一つは動脈硬化で血管が細くなり血栓ができるつまるものと、もう一つは心臓に心房細動と言つ不整脈があると心臓の中に血栓ができるやすく、その血栓がはがれて血流に乗つて運ばれて行き、脳や首の

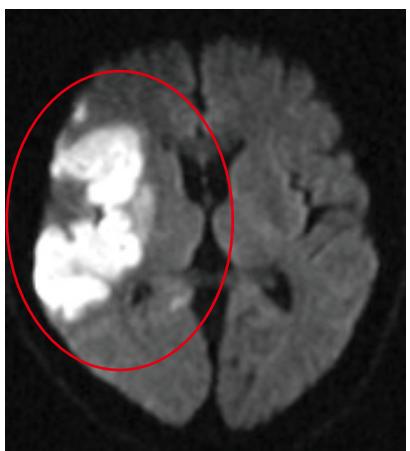
血管をつまむことがあります。心臓の血栓が原因のものを心原性脳塞栓症といいます。

血管がつまる病気で、2つのタイプがあります。一つは動脈硬化で血管が細くなり血栓ができるつまるものと、もう一つは心臓に心房細動と言つ不整脈があると心臓の中に血栓ができるやすく、その血栓がはがれて血流に乗つて運ばれて行き、脳や首の

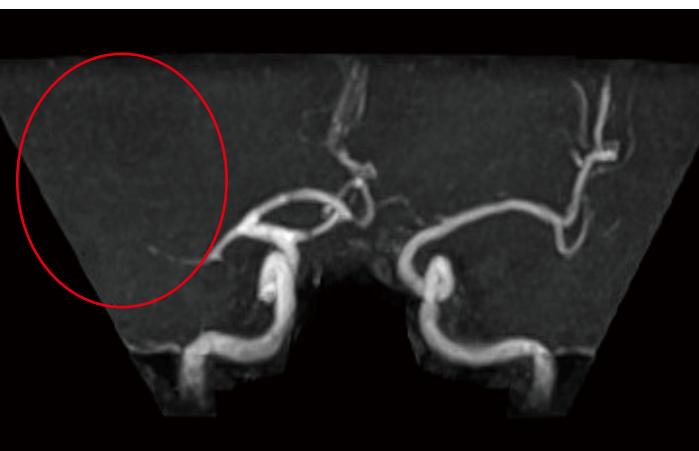
ます。さあさうですが、多くは半身の手足の麻痺です。さうに半身がしびれたりする事もあります。その他にはろれつが回らない、言葉が出なくなったり相手のしゃべっている事が理解できないと言つ失語症、物が飲み込めない、物が一重に見えたり、視野の一部が見えない、目まいやふらつき、意識障害も出現する事があります。血管がつまつた時点で症状が出始めますので、発症の方は基本的に急です。しかし、血管がつまつた時点で脳がすぐに壊死してしまつて訳ではありません。時間がたつにつれて徐々に壊死して、さうに周囲に広がっていきます。そのため、血管がつまつてからできるだけ早い時間に血管のつまりが取れて血液が流れ出せば、症状が改善したりさうには症状が消失したりする可能性もあります。逆につまつたまま時間がたつて脳が壊死してしまつと回復は困難で後遺症となります。

そこで脳梗塞の治療でもつとも大切な事は、発症からできるだけ早い時間に治療を開始する事です。その目安となる時間が発症から4.5時間以内です。この4.5時間と言う数字は、遺伝子組み換え組織プラスミノゲン・アクティベータ(rt-PA)と言う強力に血栓を溶かす薬を使う事が許されている

■脳梗塞のMRI検査画像



▲白い所が急性期の脳梗塞



▲脳の血管がつまつて血管が写っていない

時間です。もしその時間を過ぎてからrt-PAを使用しても、血栓がしつかりでき上がつて固まつてしまつと溶かすことができ

かない可能性が高くなりますし、たとえ血栓が溶けて血液が流れ出しても既に障がいは脳の壊死している所に血液が流れ出されてしまつた脳は回復しません。さらには脳の壊死している所に出血が起つてしまつた事がかえつて悪化させてしまう事もあります。この事からこの治療は「諸刃の剣」に例えられています。

以上のような理由で症状が出現してから4.5時間以内しかrt-PAの治療は行えません。ですので、症状が出現したらできるだけ早く病院を受診する事が大切ですし、基本的に救急車対応となります。しかし、発症から4.5時間以内に病院を受診したとしても必ずrt-PAの治療ができるかと言うとそうではありません。既往の病気や症状とその程度、血液検査や脳の断層写真の結果などにより、rt-PAの治療を行わない場合や、あるいは行わない方が良い場合もあります。

脳梗塞の最新治療

次に最新の治療として血栓回収療法について説明します。これはつまつた血管の中に細いカテーテルと言う管を入れて、血管をつまらせている血栓を直接取り除いてし

まつという治療です。脳梗塞は太い血管がつまるほど重症になります。前述のrt-PA治療は太い血管の血栓、すなわち大きな血栓は溶かしきれない事が多いのです。そこでそのような脳梗塞では、血栓を直接力で取り除く治療の対象となります。この場合も発症から4.5時間以内でrt-PAと併用し行い、それを過ぎた場合は血栓回収のみの治療となります。ただこの治療も発症から8時間以内という時間の制限があります。さらにこれらの治療はどの病院でもできるわけではなく、できる病院は限られています。当院の脳卒中センターではいざれの治療も行う事ができます。とにかく症状が出現したら、少しでも早く病院を受診していただく事が大切です。

ただこれら治療の進歩があつても、脳梗塞は一度発症してしまつと後遺症を残す可能性が非常に高い病気であることは変わりありません。一番大切な事は、日常生活から脳梗塞を予防する生活習慣に心掛けることです。脳梗塞の危険因子である高血圧や糖尿病、脂質異常症、心房細動などの持病がある方は、その治療を怠らずしつかり続けるようにしましょう。

院内保育園

個性を大切に、成長を見守つて

保育士主任

山田
やまだ
一美
かずみ

「おはよっ」。さようも子供達の元気な声で一日が始まります。たんぽぽ保育園は現在、0から3才までの24名の子供達が通園しています。病児担当1名を含めて保育士は7名です。

新しい園舎になつて丸9年が過ぎ、子供達は明るい保育室・広い園庭で元気いっぱい遊んでいます。ひよこ組は0才児8名です。育休明け1才になつたばかりの子供達は、お母さんと離れ、慣れるまで泣いてしまつたり、眠れなかつたり、体調も崩しやすく気が張ることもあります。そんななか、保育士に慣れて笑顔を見せてくれたりするときが本当にうれしい瞬間です。

りす組は1才児8名です。園生活にも慣れて、おしゃべりもできるようになり、トイレトレーニングもみんなで始めています。イヤイヤ期まつ最も笑つたり、泣いたり、怒つたり奮闘の毎日です。

うさぎ組は2才児9名です。たんぽぽ

育園の中でも一番大きい子供達です。それぞれの個性も育つてきて、笑い声も泣き声も響き渡つてゐるなか、日々成長している子供達の姿に感心したり感激したりします。



▲うさぎ組（写真左）はお絵描き、ひよこ組（写真右）はブロック遊びに夢中です。

涼大会などにも参加して、お遊戯を披露しています。たくさんの人の前で発表していくなかでも一つひとつ成長していくのがわかります。子供達の個性を大切にしながら成長を見守り、保護者が安心して働ける保育園です。また、たくましい子供たちのパワーをたくさんもつて、これからも明るく楽しいたんぽぽ保育園でありたいと思っています。



▲たんぽぽ保育園の全スタッフ。中央が山田保育士主任。



▲群馬県消防防災ヘリ・長野県消防防災航空隊・岳南広域消防本部と12月8日に合同で行なった傷病者受け入れ訓練。

機器、食料など多くの資源、そして情報が必要です。災害時でも地域の皆さんに安全、安心な医療を提供するため、適切なとき、場所に資源を投入し、医師、看護師ほか医療従事者が災害時でも最大限の能力を発揮できるよう環境を整えるのが災害対策救護センターの役割、そしてそれを運営するのが防災・災害対策課です。

昨年はヘリポート開港による信州ドクターヘリ、群馬県防災ヘリ「はるな」の訓練、ヘリコプターを使用した患者搬送訓練、多数傷病者が発生した事故想定の合同訓練、高層階出火を想定した火災避難訓練を計画、実施しました。「なぜ訓練が必要か?」といふと「訓練でできないことは実災害でもできない」からです。災害対策マニュアルに基づいた病院全体の総合防災訓練実施から課題抽出を行い、マニュアルやBCP(業務継続計画)を改定してまいります。災害派遣医療チーム(DMAT)隊も5隊編成で活動しており、県内外の訓練に参加し隊員の技能向上を図り、災害発生時の対応能力の向上をめざします。

当院は平時、災害時でも医療機能を十分発揮できるよう、再構築計画段階より思慮に思慮を重ね、現在の形となりました。昨年は消防機関・医師会・北信保健福祉事務所・中野市・北信地域の皆さんと訓練を通じて、顔の見える関係、結びつきが深められたことが大きな一歩でした。今年はさらにこの地域、医療を守るという共通の目標に視点を合わせ、視野を広げさまざまな災害対応ができるよう、ひと・組織がつながるよう協力し、かたちにしていくことがセンターの使命だと思っております。さらに地域のために深化できるよう今年も一歩ずつ積み重ねてまいります。

防災・災害対策課

「つなげる」「かたちに」を使命に

防災・災害対策課
内田 守道

うちだ もりみち



▲西病棟8階火災避難訓練での本部の様子。



▲多数傷病者事故対応訓練を昨年9月25日に実施しました。

健康管理

健診結果、もう一度見てみましょう

健診結果のミカタ 中性脂肪 編

健康管理部 保健師・人間ドック健診情報管理指導士

清水由紀子
し
みず
ゆき
こ

中性脂肪は、身体活動のエネルギー源として使われる栄養素です。食事中の脂肪や糖質が小腸から吸収・分解され再合成されたもので、血液中では血中中性脂肪として存在し、消費されずに余ったものは体脂肪として体内に蓄積されます。肝臓にたまれば脂肪肝、内臓の周りにつければメタボリックシンドロームにつながります。

健診では血液中の数値をみています。中性脂肪値は食事に影響されるため、10時間以上の絶食を空腹時とみなし、採血することになります。基準値は、空腹時 $35 \sim 149 \text{ mg/dL}$ です。基準値以上の場合は、脂質異常症と呼ばれます。全身の血管の動脈硬化につながり、放置しておけば、心筋梗塞や脳梗塞などの疾患にかかる危険が高まります。さらに、HDL



プラスティンとは

厚生労働省からだされている、健康づくりのための身身体活動指針「アクティブガイド」(<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r9852000002xple-att/2r985200002xpr1.pdf>)という指針があります。健康寿命を伸ばすため、今よりも10分多く、元気に体を動かそうという取り組みです。



(善玉)コレステロール値が下がり、LDL(悪玉)コレステロール値が増加することにもつながってしまいます。

高カロリーの食事やアルコールの飲み過ぎ、運動不足が原因となることが多く、改善のためには、食事や身体活動内容の見直しが必要になります。

アルコールは1日1合程度までを目安とし、週2日以上の休肝日を設けてみましょう。休肝日は飲まない曜日を決めると取り組みやすくおすすめです。

問題のミー解説と生活上の改善ポイント

①動物性脂肪や糖質は控えめに

脂肪分だけでなく、炭水化物や菓子類などの糖質の摂り過ぎにも注意が必要です。

②飲酒は適量に

アルコールは1日1合程度までを目安とし、

週2日以上の休肝日を設けてみましょう。休肝日は飲まない曜日を決めると取り組みやすくおすすめです。

③体を積極的に動かす

現在、運動習慣がない方でも、日常生活の中で「今よりも1日10分多く体を動かすこと(プラスティン※)」を心がけてみましょう。階段を使うことや、姿勢よく少し早足で歩くようにしてみるとなども良いでしょう。

今までの習慣を改めることは最初は大変ですが、まずは1日、1週間と一步ずつ取り組んでみましょう！

次回は「視力検査」です。

(9) 臨床心理・リハビリテーション科職員紹介／こんにちは☆看護主任さん


こんにちは☆看護主任さん
南病棟5階
滝澤 美佐子

季節感も感じられるケアを

私が勤務するのは医療療養病棟で、医療行為を多く必要とする長期療養する患者さんもいる病棟です。そのため、外出等屋外に出る機会が少ないこともあります。患者さんと散歩をすることもあります。ある晴れた日に西病棟の屋上に散歩に出かけました。その日は北信五岳が望め、外気は少し冷たいけれど日が当たって暖かく感じられる日でした。ふと空を見上げると季節を感じさせる雲がありました。それは魚の鱗のように見える「うろこ雲」なのか、もこもこした羊のように見える「ひつじ雲」なのか「一体どっちなのだろう？」と家に帰って調べてみました。結果、うろこ雲は秋を代表する雲で上空の高いところに発生し、雲が薄く太陽が透けるため影がないそうです。一方ひつじ雲は発生する場所が低く、雲が厚いため底に影があるということでした。散歩で見た雲を思い出し当てはめてみると、うろこ雲だったようでした。冬になり屋外の散歩はできませんが、今後も季節感も感じられるケアが提供できるようにしていきたいと考えています。

職員紹介

臨床心理・リハビリテーション科職員紹介 より高度で丁寧な医療の提供に向けて

認定行動療法士

臨床心理士 常田 修一
ときだ しゅういち

私は主に精神科の外来で働いています。認定行動療法士とは日本認知・行動療法学会が認定している資格です。

心理療法というのはいろいろな種類があるので、その中で認知行動療法というものがあります。「この困りごと」を具体的な行動（気持ちなどすべての精神活動）としてとらえ、どのような状況でその困りごとが起きているのかを患者さんと一緒に検討し、解決策を探っていきます。それをする上で必要な知識や技能をこの資格が認定しています。



常田臨床心理士（左）と内田作業療法士（右）

し、新しい知識もどんどん増えてゆきます。相談に来られた方のお役にたてるように、日々研鑽しています。また心地よく検査が受けられるよう努めています。

私が作業療法士として大切にしていることは、利用者さまの持っている力と希望を生かして安心できる日常を送っていただくことです。そのため、病院や施設のリハビリで回復した能力を自宅で生かしていただく環境づくりを提案することも大切だと気付き、福祉住環境コーディネーターの資格を取得しました。

福祉住環境コーディネーターとは、医療・福祉・建築についての知識を持ち、高齢者や、障がいのある方のために住みやすい住環境づくりをアドバイスする資格です。
病気や障がいを抱えた利用者さまや、介護をされている家族の方が安心した日常を送れるようにサポートしています。

福祉住環境コーディネーター 作業療法士 内田 咲子 うちだ さきこ

* 腸内環境を整えるには？

1. 3つのバイオティクス

腸内環境を整えるためにはプロバイオティクス（乳酸菌・ビフィズス菌）、プレバイオティクス（食物繊維・オリゴ糖）の存在が重要です。

【腸内環境を整えるための3つのバイオティクス】



2. 食事以外も忘れずに

運動は腹部の筋力を向上させ、便の排泄をスムーズにします。また、睡眠などの休息は胃腸の働きを高め、消化吸収を促進します。日頃から規則正しい生活を心がけましょう。

【食事以外の注意点】



*自分に合った有用菌を探そう！

乳酸菌やビフィズス菌といった有用菌には多くの種類があり、腸との相性も人それぞれです。一種類の食品にこだわらず、さまざまな食品から有用菌を取り込むことが大切です。

便の回数や状態を観察しながら自分に合った有用菌を探してみましょう。

食事は主食・主菜・副菜を揃えたバランスのよい食事を心がけ、腸内環境を整えましょう。

栄養科から
こんにちは

自分でできる 食事と健康管理

～腸内環境を整えよう～

最近よく耳にする「腸内環境」という言葉を、みなさんご存知ですか？

腸内環境は主に大腸内部の環境のことをいいます。大腸は便を作るだけでなく、私たちのからだの免疫機能や健康を維持するためにとても重要なはたらきをしています。

腸内環境を整えて、風邪やインフルエンザに負けない健康的なからだを目指しましょう！

* 腸内に存在する様々な細菌

腸内には数百種類、600兆個以上の「腸内細菌」が生息していると言われています。また、腸内細菌は「善玉菌」「悪玉菌」「日和見菌」と呼ばれる3つの菌に分類されます。

【腸内細菌の分類と特徴】

黄金比は…  善玉菌 :  悪玉菌 :  日和見菌 = 2 : 1 : 7

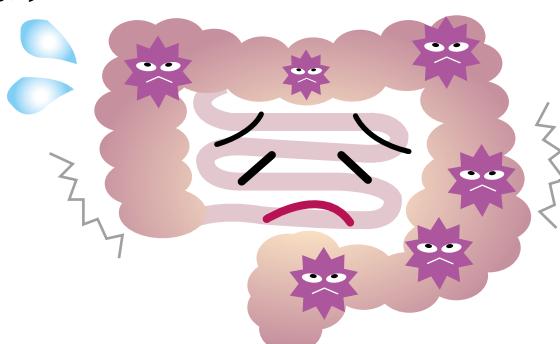
| | | | |
|---|-------------------------|----------------------|--|
|  | 善玉菌 良い作用をもたらす | 乳酸菌 ビフィズス菌 | 牛乳・乳製品や漬物など食品を中心とする菌。 |
|  | 日和見菌 優勢な菌を応援 | バクテロイデス | 腸内細菌の中でもっとも多くを占め、善玉菌にも悪玉菌にもなりえる菌。 |
|  | 悪玉菌 悪い物質を生成 | クロストリジウム菌 | 毒素を生むほか、小腸で異物の侵入を防ぐバリア機能を崩したり、酸化の原因となる菌。 |

引用：最強！腸内環境.com～腸活で健康になる！～より

* 腸内環境が乱れるとどうなる？

不規則な生活や偏った食事、喫煙、睡眠不足、薬の服用、加齢、ストレスなどによって腸内環境は簡単に乱れてしまいます。

善玉菌よりも悪玉菌の割合が多くなるため、便秘や下痢などの腹部症状に加えて、生活習慣病の発症、肌荒れ、老化の進行にもつながると言われています



悪玉菌が増えると
大変…。

拝見、ご意見箱



【ご意見】

入院中に携帯を使いたいのですが、Wi-Fiがフリーだとありがとうございます。

【回答】

当院では入院中に病棟でインターネット（無線 LAN）をご利用いただけるサービスを行っております。

無線 LAN スポットをご利用いただく場合には、利用規約に同意していただいた上で、「北信総合病院 無線 LAN スポット利用申請書」を提出していただきます。病棟看護師または医事課入院受付窓口でお申し込みください。

【ご意見】

薬を飲み忘れることがあり、病院にも水を持ってこなくて、薬を飲まないことがあります。水は持ち運びに重いのですが、簡単に飲める場所がありません。ご検討いただきたいと思います。

【回答】

ご意見ありがとうございます。

外来棟 1 階の夜間入口近くに、無料で水が出るように設定してあるカップ式の自動販売機を設置しておりますのでそちらをご利用ください。

北信州診療所から

謹んで新年の慶びを申し上げます



健康問題を通して、住み慣れた土地、我が家で未永く暮らしていきたいと言う方を支えるのが我々の使命だと思い、今年も「気軽に相談できる地域の診療所」を心がけて、来院して下さる皆さまのニーズに合わせ、職員一同努力してまいりたいと存じます。

皆さんにとっても、この新しい年がより良き年になりますよう心より祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

北信州診療所 スタッフ一同

ひと言通信



技術臨床検査科
技師長 半田 幸雄

す ざ く

一度はたべてみたい「朱雀」

小布施町に住んで 23 年。特産の栗をはじめ葛飾北斎の天井絵などがある有名な観光地です。特に秋になれば栗やリンゴなどを求めて観光客で賑わいます。特に、ある店の「朱雀」というスイーツをもとめて県内外から、早朝から列を作り整理券を求めていきます。平日は 7 時には約 50 人、休日なら 6 時半で約 150 人が並んでいます。こんな早朝から町の中に人がいるなんて凄いことです。毎年、家内と「今年こそは並んで、食べよう！」と言ってはいるのですが、今年も残念ながら実現しませんでした。「よし来年こそは並ぶぞ！」と毎回気合いを入れています（-_-）/~~~。

身近な地域のお医者さん

飯田医院

院長 飯田 あかね 先生

診療科 内科・小児科・眼科

〒383-0013 中野市中野 1650-3
☎0269-22-2653

施設の特色を教えてください

中野小学校正門通り沿いの診療所です。眼科内科を標榜する地域の「かかりつけ医」です。スタッフもドクターも現在女性のみですが、先代の頃からの患者さんも多く、待合室の義父が描いた多数の油絵を囲み、明るい笑いも絶えません。



開業したきっかけを教えてください

昭和30年頃、中野市で先代の義父母が開院し、その後平成3年から亡夫が内科を継承、嫁の私が眼科診療を担い、平成20年以降は、私一人で内科・眼科の診療を行って今日に至っています。

地域の皆様にひと言お願いします

地域診療の初期対応を担い、近隣病院との病診連



携を通じ、手術、入院治療等を要する症例の紹介、また訪問看護ステーションやケアマネ等の介護保健関連の連携を通じ、地域医療に微力ではありますが対応していきたいと思います。



| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 8:30~11:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 15:00~17:30 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × |

上記以外の休診日は、祝日、年末年始、お盆（8/13～8/16）。

研修医日誌



いのまた ゆう き
猪俣 裕樹



神奈川県で生まれ育ち、松本市の信州大学を卒業したのち4月から北信総合病院で初期研修医として勤務しています。よく人から「なぜ地元の神奈川じゃなくて長野に？」と聞かれことがあります。確かに神奈川の方が何かと便利なこともあります。

いし、長野県は寒さも厳しく、雪も多い。だけどそんな長野県の長閑な雰囲気の方が僕には魅力的でした。これから雪が降り、スキーができることも楽しみにしています。

日々の診療では、高齢者から若者まで多くの患者さんを診察します。初めて会うご高齢の患者さんから「あらお兄ちゃん、若いけどお医者さんなの？」と言われることもあります。そんな方々にも医師として信頼してもらえるように、日々努力しております。

老人保健施設
もえぎ

新年の挨拶
今年も『もえぎ』は在宅での療養を支援してい
きます

施設長 下山 丈人

明けましておめでとうございます。昨年は当施設『もえぎ』をご利用いただきましてありがとうございました。また、『もえぎ』を支えていただきました。家族、地域およびボランティアの皆さんには本当に感謝しております。どうもありがとうございます。

昨年、地域包括ケア強化法改正後の介護保険法における介護老人保健施設の定義に、主としてその心身の機能の維持回復を図り、居宅における生活を営むことができるようにするための支援が必要である者に対するサービスを行う施設である、ということが付け加えられ、介護老人保健施設は在宅療養支援を行う施設であると定義されました。ということは、介護老人保健施設は在宅で生活されている皆さまが、一般入所、短期入所、通所リハビリテーションなどを通じて、その在宅での生活のお役に立つ支援を行わなければならないということであり、また、病気のために入院され、その後に介護老人保健施設に入所さ

れた皆さんに対しても、在宅に戻るための支援を行わなければならぬことになります。このようなことは従来から介護老人保健施設の理念と役割には明記されていましたが、今回、介護保険法に明記されたことで、今後は在宅療養支援を行わなければ介護老人保健施設ではないことになる可能性があるわけあります。当『もえぎ』では従来から在宅療養支援や在宅復帰は当施設の基本方針として推進してまいりましたが、今後はその機能をさらに強化して皆さまのお役に立たなければならぬと考えています。皆さまの「理解をどうかよろしくお願ひいたします」

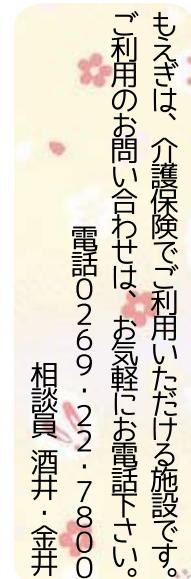
今年も『もえぎ』は在宅療養支援を行う介護老人保健施設としてさらにバージョンアップしていくので、皆さんも何かお気づきの点がございましたら、「遠慮なくお申し付けください。皆さまのいろいろなご指摘の中にこそ今後『もえぎ』がさらに良くなるための重大なヒントが隠れているものと信じています。

今年も私たちは一層の努力を積み重ね、より良い施設をめざしていきたいと考えております。どうかよろしくお願ひいたします。

もえぎは、介護保険でご利用いただける施設です。ご利用のお問い合わせは、お気軽にお電話下さい。

電話：0269・22・7800

相談員 酒井・金井



職場紹介

西5階病棟
多職種連携による安全で安樂な療養環境の提供をめざして

西5階病棟 看護師長 金井 歩美



皆さまこんにちは。西病棟5階の紹介を
させていただきます。

西5階病棟は整形外科・泌尿器科・形成外
科・眼科・口腔外科・麻酔科の混合病棟です。
スタッフは整形外科医師3名、泌尿器科医
師2名、形成外科医師1名、眼科医師3名、
口腔外科医師2名、麻酔科医師6名の医師を
はじめ、看護スタッフ35名、病棟担当薬剤師
1名、医療ソーシャル・ワーカー1名で入院
中の患者さんの療養のお世話をさせていただき
ています。

整形外科は大腿骨の骨折や圧迫による骨折
の患者さんが入院されます。形成外科は突然
のけがで入院される患者さんが多いので、安
心して手術や療養生活が送つていただけるよ
うにスタッフがお手伝いをさせていただいた
います。また、理学療法士や作業療法士が一
人ひとりの患者さんの病状や痛みを理解し、

個別性をもつてリハビリをすすめさせていた
だいています。

整形外科だけでなく外科系の病棟であるた
め、手術をされる患者さんが主であり、手術
は毎日行われています。泌尿器科や眼科、口
腔外科では一泊で退院できる手術も多く、入
退院が多い病棟でもあります。そのため患者
さんに安全な医療・看護が提供できるように
多職種と連携をとり、医師・看護師・リハビ
リスタッフ・医療ソーシャルワーカーなどで
話し合い、退院後の生活を考慮したサポート
体制をとっています。

また高齢の方も多いため、食堂での食事
や音楽、レクリエーション、散歩などを取り
入れて、日常に近い環境の提供ができるよう
に努力しています。

私たちスタッフは患者さんの笑顔や温かい
言葉を励みに看護やケアを実践しています。



▲西5階病棟スタッフと金井看護師長（前列中央）

